



“破傷風” って何？ 治療や予防について

兵庫県内でも発生数が少ない感染症である「破傷風」が丹波地域で発生しました。「破傷風」は、かかった場合に亡くなる割合が非常に高い病気です。

そこで、担当の医師から「破傷風」の怖さや予防策について、罹患患者とともに説明をさせていただきます予定です。

「破傷風」のことを広く周知することで、病気の未然防止につながると考えられますので、各報道機関におかれてはぜひ取材をしていただければと存じます。

なお、取材をご希望の場合は、担当医や罹患患者との日程調整が必要なため、丹波医療センター総務部総務課まで連絡していただくよう、よろしく申し上げます。

【参考】破傷風について（厚生労働省ホームページより抜粋）

破傷風は、破傷風菌により発生し、かかった場合に亡くなる割合が非常に高い病気です。以前は新生児の発生もみられましたが、近年は30歳以上の成人を中心に患者が発生しています。

主に傷口に菌が入り込んで感染を起こし毒素を通して、さまざまな神経に作用します。口が開き難い、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、最後には全身の筋肉が固くなって体を弓のように反り返らせたり、息ができなくなったりし、亡くなることもあります（感染症法では5類感染症に分類）。

○破傷風の発生件数（各年とも1月1日～12月31日まで）

年	R元	R2	R3	R4	R5
兵庫県	2	3	3	1	4
全国	126	104	93	96	109

※出典：兵庫県－兵庫県立健康科学研究所「兵庫県感染症発生動向調査事業年報」
全国－国立健康危機管理研究機構「感染症情報提供サイト」

発表者名 (担当者名)	連絡先電話番号
県立丹波医療センター総務部長 井上 弘之 (県立丹波医療センター総務部総務部次長兼 総務課長 名久井 康宏)	0795-88-5200